2024 International MobilityData Summit 参加報告

伊藤昌毅

日本バス情報協会 代表理事

MobilityData Board Member

開催概要

- 2024年10月30日~31日 カナダ モントリオールにて開催
 - 2年に1回開催・前回は2022年6月
- 参加費
 - \$700~\$900 (7.5万円~9.6万円)
 - 学生は\$300(3.2万円)
 - 早期割引あり
- 19ヶ国の100組織から190名が参加
 - インダストリー中心のセミナー
 - 交通事業者・IT企業・政府関係など
- ・ 日本からは2名参加
 - 伊藤、別所正博氏(東洋大・ODPT)
 - 池田庸氏(東京都庁)がビデオ登壇

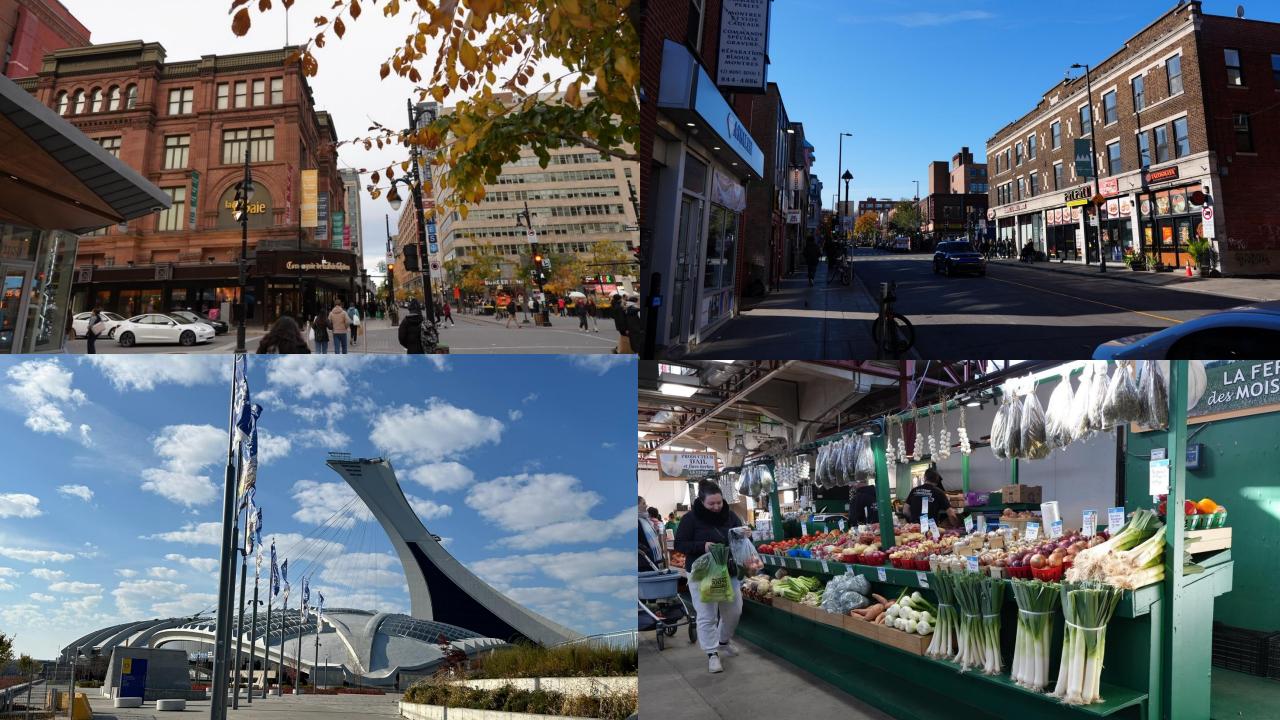




カナダ ケベック州モントリオール

- ・ カナダ東部・カナダで2番目に大きな都市
- 公用語: フランス語(英語も十分通じる)
- 人口: 1,762,949人、都市圏人口: 4,291,732人(2021年)
- 1976年に夏季オリンピック開催
- 10月の平均気温: 9.0度(冬期の最低気温は-10度を下回る!)





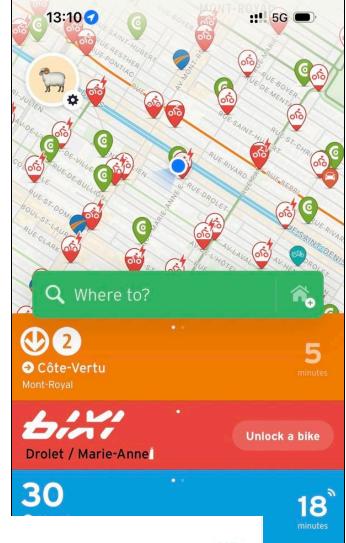
モントリオール STM





Transit の所在地

起動するだけで移動可能性を示し、公共交通利用を動機づけるようなインタフェース



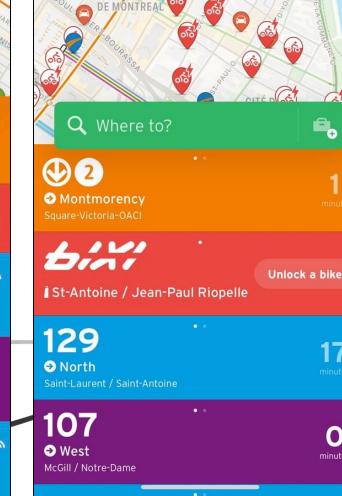


Masaki Ito @niyalist · 2024年10月31日

Trainsitというアプリは、明示的な操作なしでも周辺の代表的なバスの待ち時間やシェアバイクの空きなどが表示される。日々の通勤の人でも使うようなアプリを目指してるとのこと。Google Mapsとかのさらに次の世代のUIという感じ。そうだよねえ。

West

Du Mont-Royal / Saint Den



2024 International MobilityData Summit



参加目的

 MobilityData Board Member として対面でのミーティング に出席

サミットにて日本における GTFSデータ整備状況について 報告





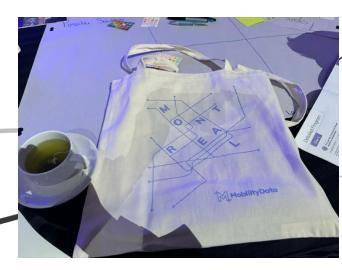
プログラム概要

- 2日間フルの開催
 - ランチ、懇親会あり
- ・セッション
 - 1時間程度のセッションが8セッション * 2会場
 - バスレーン(主会場): 公共交通・GTFS関係のトピック
 - バイクレーン(サブ会場): シェアモビリティ、GBFS関係のトピック









キーノートスピーチ (基調講演)

The Last Year in Transit and Shared Mobility by Mobility Data









● Masaki Ito @niyalist · 2024年10月30日

Ericの挨拶が始まりました。今、技術や移動のパターンが変わろうとしているので 一番大事なとき、という紹介。



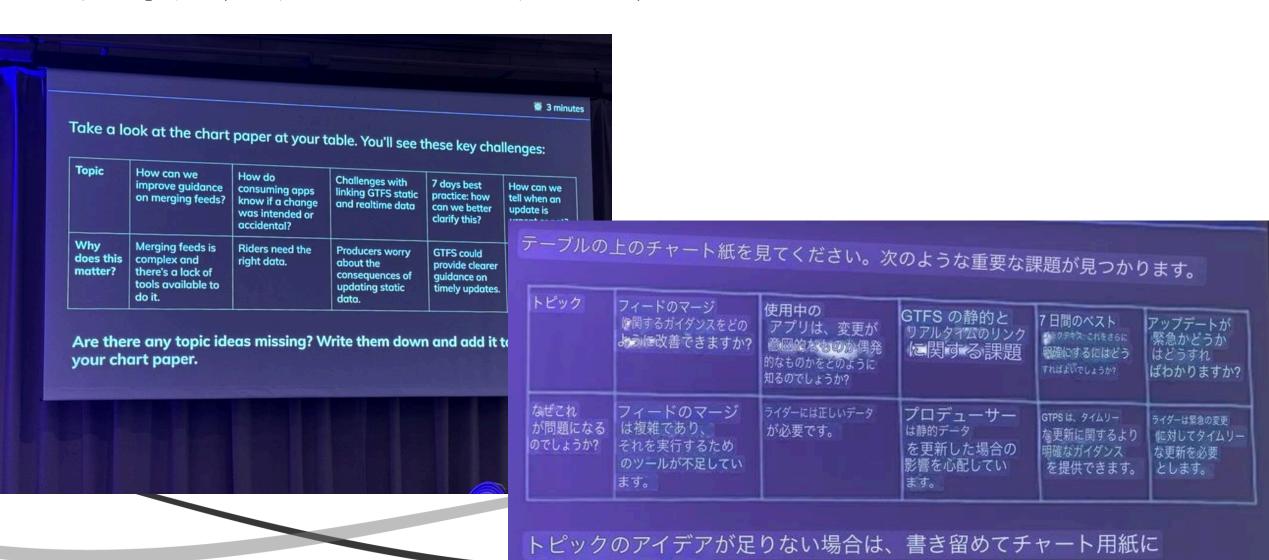
Workshop: How to Make Sure Transit Riders Get New Schedules from GTFS Static Datasets on Time?



GTFS静的データセットから新しい時刻表を 適時に利用者に届ける方法

• 一般的な交通フィード仕様(GTFS)ガイドラインでは、新しい データセットを少なくとも7日前に公開することを求めている。 しかし、このスケジュールを守ることはしばしば困難であり、 利用者が更新された時刻表を見逃すといった問題が発生するこ とがある。「適時」という基準の解釈は多様であり、7日ルー ルは小規模な調整には厳しすぎる一方で、新しいルートを十分 に理解するには短すぎる場合がある。このワークショップでは、 これらの課題に対処し、GTFSの準拠性を向上させ、データ管理 を強化するための実践的な解決策を探ることを目的とする。

ディスカッションのテーマ



追加してください。

グループディスカッション

• 各テーブルにデータ生産者、利用者、行政当局などが混ざって 座り、GTFS品質向上のために出来ることを議論





● Masaki Ito @niyalist · 2024年10月30日

グループでGTFSの品質向上のために何ができるかを議論するターン。余りに普段の話題なので、英語わからないけど何を話してるかわかる、ムスカ状態。

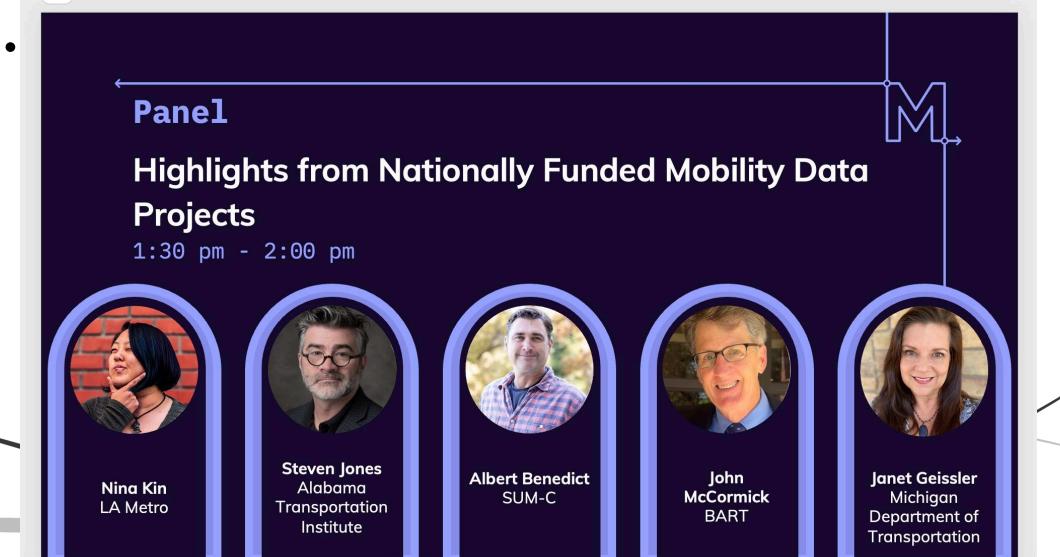
Empowering Global Access: Promoting and Assessing Open Transport Data



グローバルなデータアクセスの推進: オープントランスポートデータの普及と評価

オープンモビリティデータは、情報を多様な利害関係者(開発者、起業家、政策立案者)にとってアクセス可能かつ利用可能にすることで、都市交通を変革している。このパネルでは、オープンデータが都市や地域社会の発展をいかに促進し、新たな解決策を生み出し、サービスを最適化し、交通におけるアクセシビリティと公平性を向上させるかについて議論する。

Highlights from Nationally Funded Mobility Data Projects



国家資金によるモビリティデータプロジェクトのハイライト

このライトニングセッションでは、「モビリティの強化と交通 の革命(SMART)」および「未来のモビリティー助成金プロ ジェクトの代表者が、自身のプロジェクトを紹介し、実施中に 直面しているデータに関する課題を共有する。農村部のモビリ ティ向上、アクセシブルで公平なマルチモーダル公共交通の実 現、イベント統合型チケットの計画、女性を中心としたモビリ ティハブの設計フレームワークなど、これらのプロジェクトは 多岐にわたる。これらは、持続可能なモビリティを地域社会に 根付かせるため、米国およびスウェーデン政府による多様かづ 大規模な投資を反映している。

Q





Home \ Grants



Related Links

- SMART Program Fact Sheet
- FY23 SMART Project List

Business Hours: 9:00am-5:00pm ET, M-F

If you are deaf, hard of hearing, or have a speech disability, please dial 7-1-1 to access telecommunications relay services.

SMART Grants Program

Strengthening Mobility and Revolutionizing Transportation (SMART)

The Bipartisan Infrastructure Law (BIL) established the Strengthening Mobility and Revolutionizing Transportation (SMART) discretionary grant program with \$100 million appropriated annually for fiscal years (FY) 2022-2026.



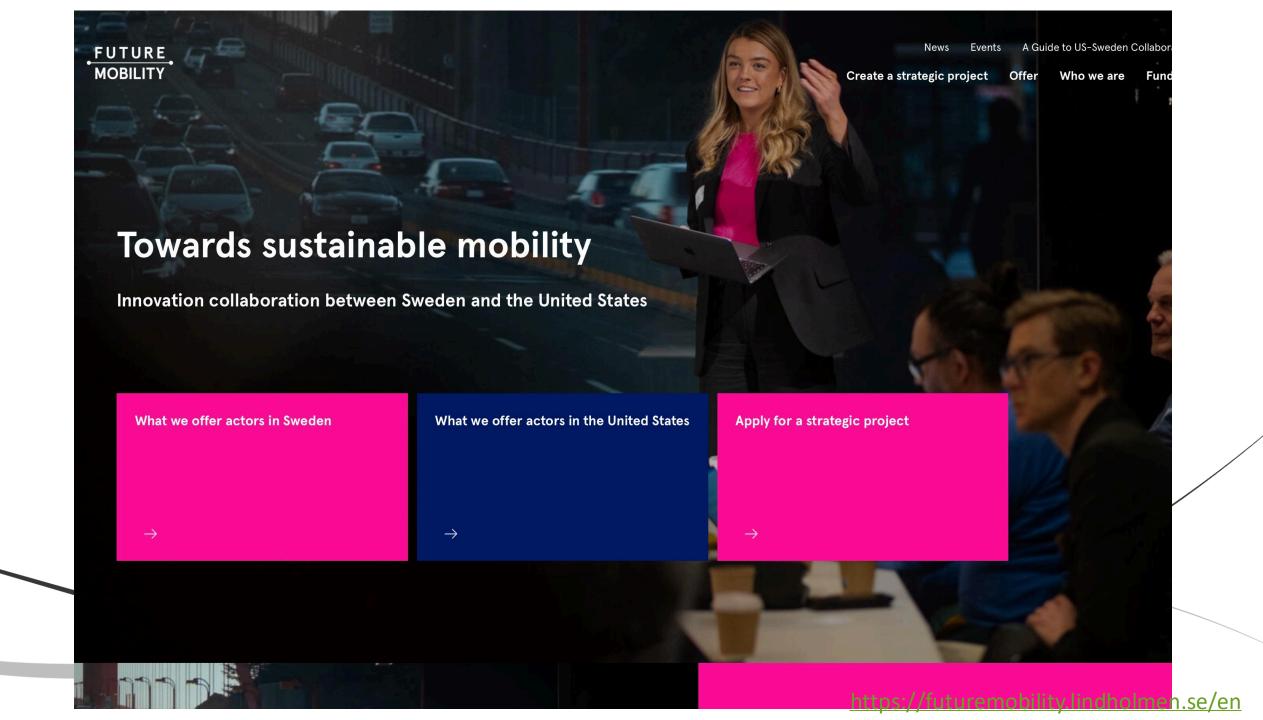
The SMART program was established to provide grants to eligible public sector agencies to conduct demonstration projects focused on advanced smart community technologies and systems in order to improve transportation efficiency and safety.

SMART is a two-stage program. Stage 1(up to \$2,000,000 dollars and 18 months) grants are open for any eligible entity to apply. Recipients of Stage 1 grants will be eligible to expand their projects through Stage 2 grants (up to \$15,000,000 and 36 months). Applicants must have received a Stage 1 grant to apply to Stage 2.

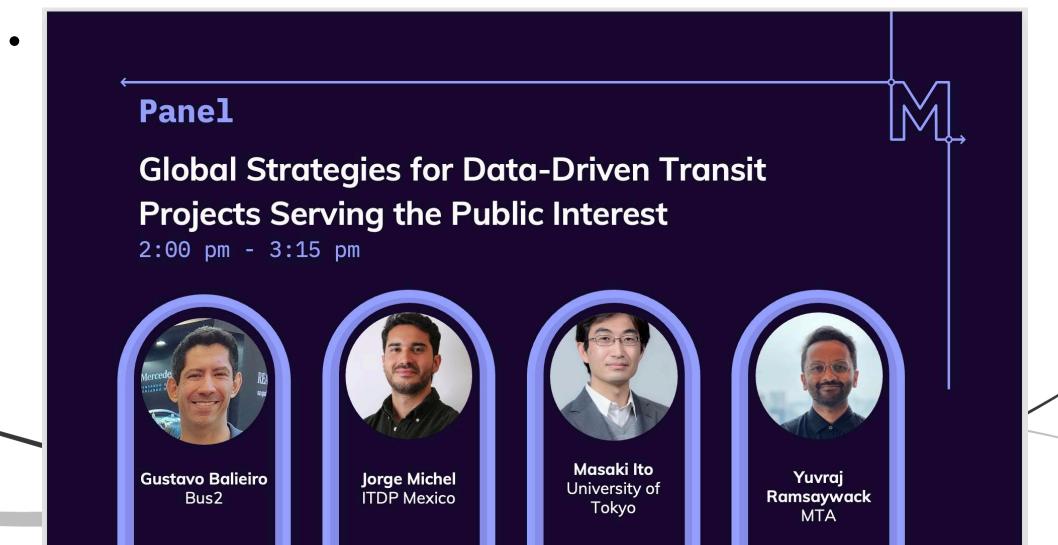
FY24 Awards Announced!

On December 16, 2024, the U.S. Department of Transportation announced \$54 million in grant awards for the 34 projects across 21 states in the third and final round of the SMART Stage 1 Grants. The Department also announced \$85 million across eight Stage 2 awards, the first round of SMART Stage 2 Implementation Grants. Visit the FY24 grant pages to learn more, or click on projects on the interactive map of all SMART projects awarded to date.

SMART Projects to Date: 127 Stage 1 Projects, 8 Stage 2 Projects



Global Strategies for Data-Driven Transit Projects Serving the Public Interest



公共の利益に資するデータ駆動型交通プロジェクトのグローバル戦略

- このパネルでは、国レベルで実施されている画期的なGTFSプロジェクトを取り上げ、交通データのアクセス向上、計画および調整の改善に焦点を当てる。
- メキシコ、ブラジル、日本、アメリカの専門家が、都市のアクセシ ビリティにおける不平等の削減や公共交通におけるデジタルイノ ベーションの推進といった主要課題に対応する、大規模で革新的な プロジェクトを紹介する。
- このセッションでは、交通データを活用して都市モビリティを再構築し、より包括的で公平な都市を実現する方法、さらに地方自治体が社会的公平性を促進する効果的な政策を策定するための支援について、グローバルな視点を提供する。



The 2024 International Mobility Data Summit [Panel Date]



Public Transportation Operators in Japan (20th Century)

Public

JNR: the government-owned railway company that operated rail networks across Japan until 1987.

Private



Many private railways operate in major city suburbs.



Multiple private bus companies in each city and region, competing with each other

Bus

Train

Possibility of GTFS Open Data

<u>Public</u>

Private



Train



Bus

No barriers to open data



Hesitate to open data due to their profit-driven nature

GTFS Open Data Coverage and Future Challenges



ŰRKyushu

<u>Train</u>

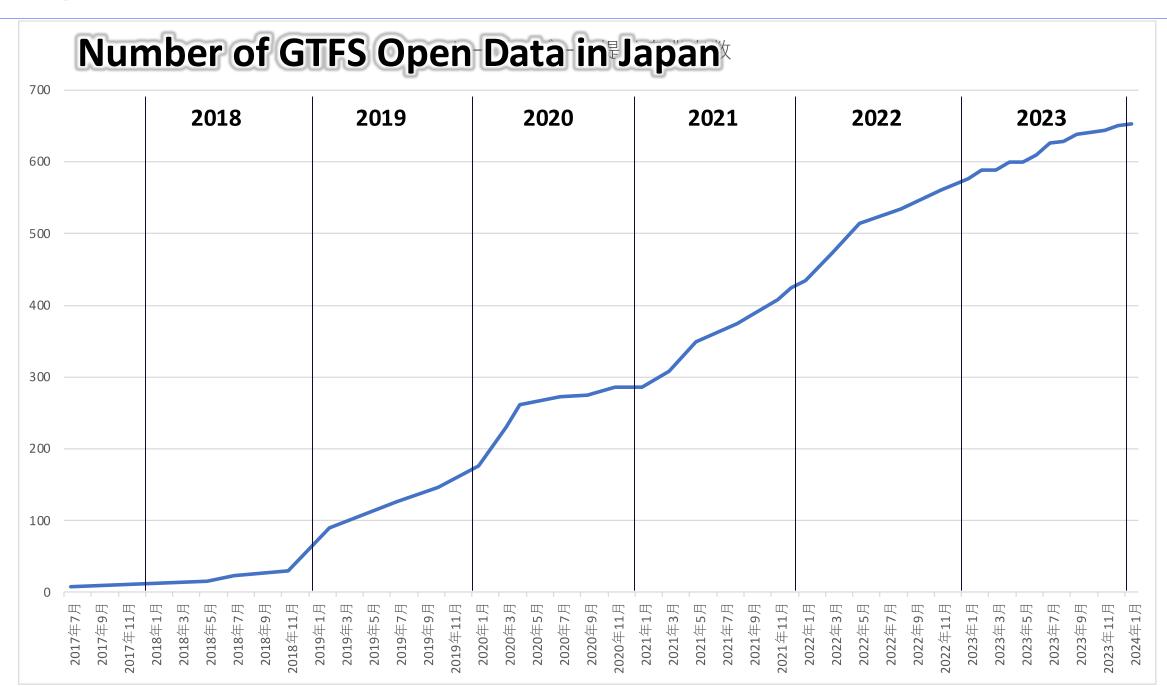


<u>Bus</u>

40%



15%









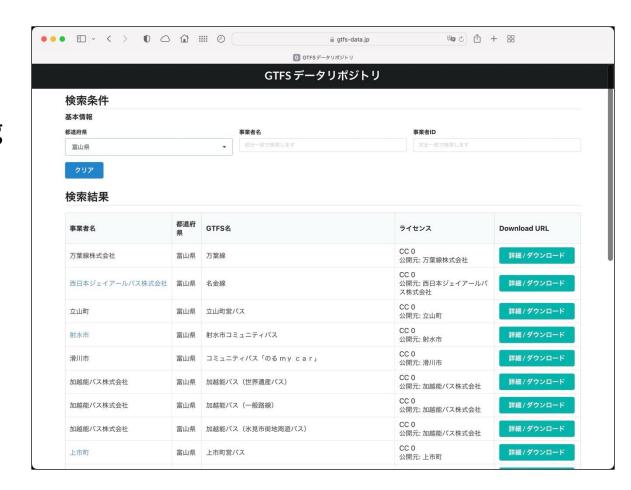




GTFS Data Repository (2022-)

- Hosts GTFS data for public transit agencies, making data publication easier.
- Automates complex tasks such as updating data while keeping the URL consistent during schedule changes.
- Integrates MobilityData's validator to ensure data quality.
- Provides solutions to resolve issues with error messages in Japanese.
- Offers an API for easy data access and updates.

https://gtfs-data.jp

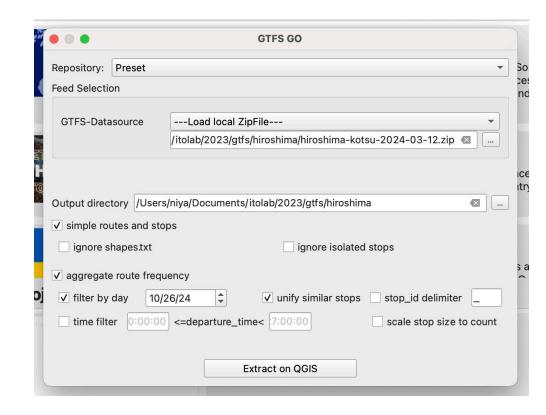


GTFS-GO: Visualize GTFS with QGIS

Developed by the Japanese Community

https://github.com/MIERUNE/GTFS-GO

- Open-source QGIS Plugin for GTFS Data
- Intuitive Visualization of Transit Data
 - Easily visualize route information and service frequencies as a map.
- Comprehensive Understanding of Urban Transit
 - GTFS-GO provides a complete view of a city's transit network, even when fragmented by operators and modes.
- Global Compatibility
 - GTFS-GO can be used with transit data worldwide.



MobilityData Société de transport de Montréal (STM)

des Pins / du Parc (coin Nord-Ouest)



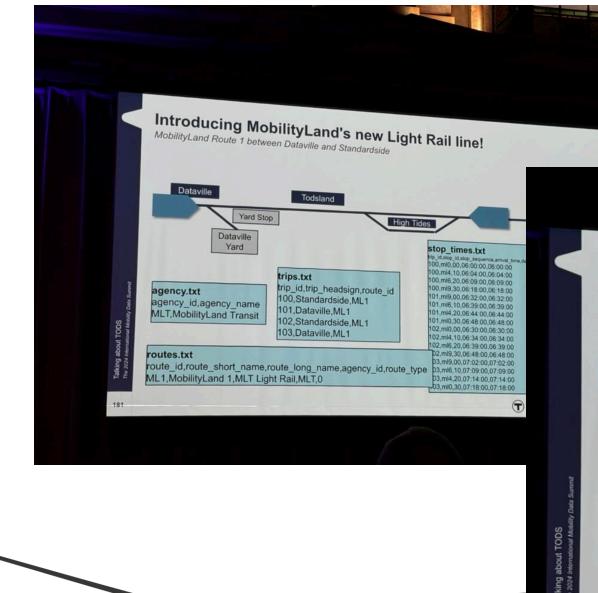
Berri / Cirque Éloize

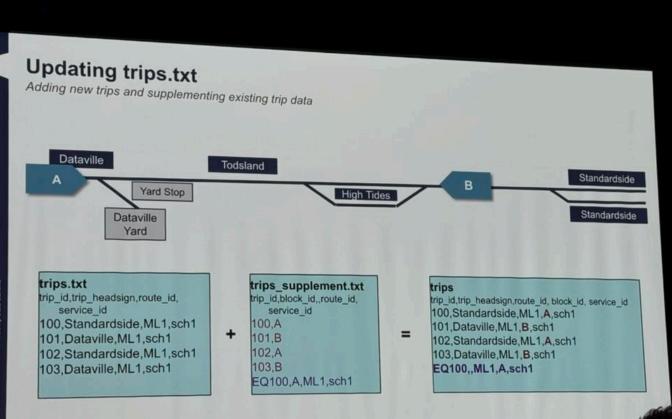
Talking about TODS: How the v2 Standard Will Shape the Future of Internal Transit Data



TODSについて語る: v2規格が内部交通データの未来をどう形作るか

- 間もなくリリースされるTODS(Transit Operational Data Standard)v2は、より強力で拡張されたモデリング機能を提供する。このセッションでは、業界内での採用による利点、v2 規格の詳細な仕様、そしてアメリカ北東部の複数の交通機関における適用事例について説明する。
- 特に注目するのは、乗客鉄道運営における複雑さであり、これ はあらゆる運行モードで直面するエッジケースの多くを包含し ている。このセッションを通じて、TODS規格の柔軟性、その 広範な適用可能性、そして将来の展望を明らかにする。







Revolutionizing Transit: Open-source GTFS for Inclusive Mobility



交通革命: 包括的モビリティのためのオープンソースGTFS

- このパネルでは、交通データとモビリティを向上させる革新的な解決策を以下の テーマを通じて紹介する:
- **コミュニティ主導のGTFS:** OpenStreetMapを活用してGTFSデータセットを作成する。
- 柔軟でオンデマンドな標準: GTFS-Flex、GTFS-OnDemand、GOFS-Lite規格を用いてタクシー、柔軟な運行、オンデマンドサービスを統合する。
- 地方交通のソリューション: GTFS-Flexやボランティアドライバープログラムを実装し、地方交通のアクセシビリティとサービスを向上させる。
- **OpenTripPlannerの統合:** NeTEx FlexibleLineやGTFS-Flexデータソースを OpenTripPlannerに活用し、柔軟なサービスやマイクロモビリティの一体型経路計画を実現する。
- これにより、包括的なモビリティの実現に向けたオープンソースGTFSの可能性を 示す。

Challenges & Lessons Learned from Managing Transit Data for Big Cities

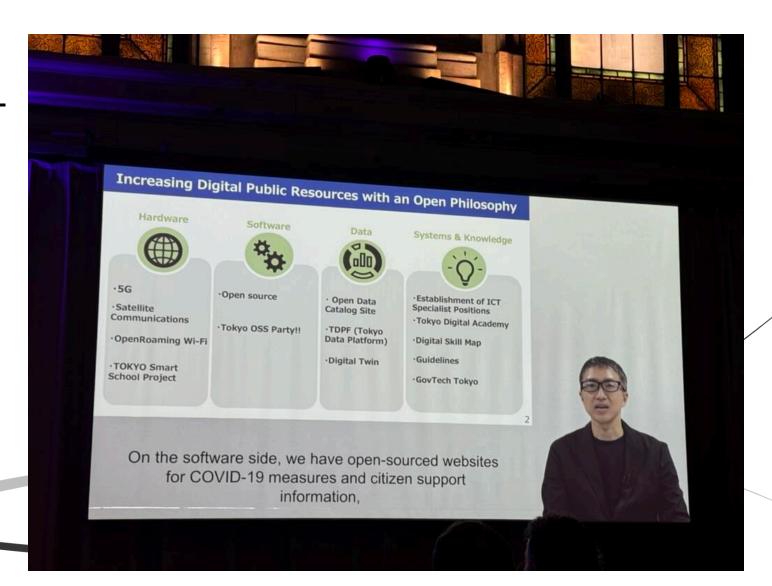


大都市の交通データ管理における課題と教訓

 公共交通情報の基盤として、GTFSは通勤者の体験を形作り、 交通運営を最適化する上で重要な役割を果たしている。しかし、 大規模なシステムにおけるGTFSデータの管理は、データの正 確性と一貫性の確保から、スケーラビリティやパフォーマンス の問題への対処まで、特有の課題と複雑さを伴う。このパネル では、世界中の大規模システムから得られた経験を共有し、そ の課題と教訓を掘り下げる。

東京都からビデオ登壇

池田庸氏(東京都デ ジタルサービス局デー 夕利活用担当部長)





➡ Masaki Ito @niyalist · 2024年11月1日

カイロ、ロンドン、ボストン、ブダペストと世界の都市からデータと交通を語れる 人が登壇する刺激的なセッションでした。データをどうするか、それによって交通 体験をどうするか、と一貫して語れる人、日本では想像出来ないよなあ。まだま だ、頑張らないとなあ。



t]



ılı 476

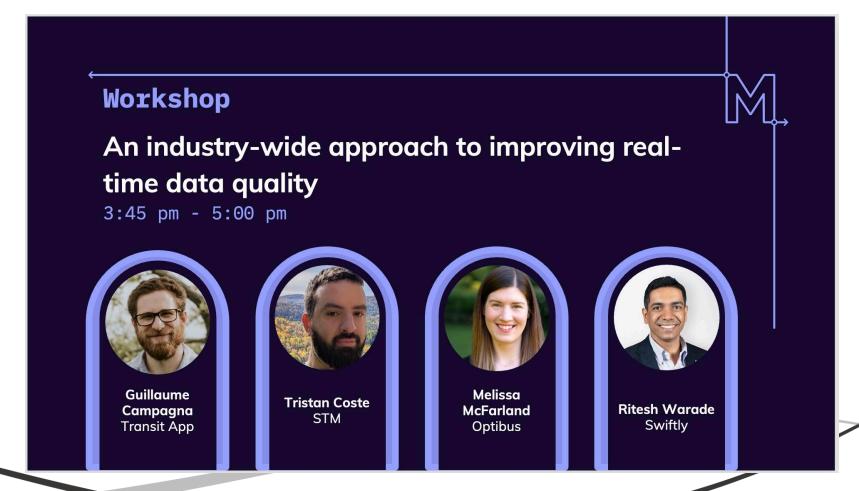




Masaki Ito @niyalist · 2024年11月1日

午後のセッションは大都市の交通データについて。東京都庁の池田さん、ビデオ出 演なのは勿体なさすぎるよ!

An industry-wide approach to improving real-time data quality



リアルタイムデータ品質向上への業界全体の取り組み

• GTFSリアルタイムを用いて提供される正確なリアルタイム情 報は、公共交通機関への信頼性と安心感を構築する上で不可欠 である。しかし、高品質なGTFSリアルタイムをどのように確 保するのか?このセッションでは、運行変更、経路の一致、予 測精度、ゴーストバスなど、データ生成における課題について 議論する。業界の各主体がこれらの問題にどのように取り組ん できたかを共有し、利用者にふさわしいリアルタイム情報を提 供するために何ができるかを模索する。

Break

- ・ コーヒーブレイクが毎回15分あり、参加者同士の交流を促進
- 飲み物だけでなく軽食、フルーツも提供
- 名刺交換の文化はない・・・





Coffee Break での出会い

- 日本ではExcelツールを使ってるそうだけど、詳しく教えて(日本在住の経験があるそうです)
- Google Earthとの連携も出来るんだよ(と自作のツール・データを見せて頂きました)



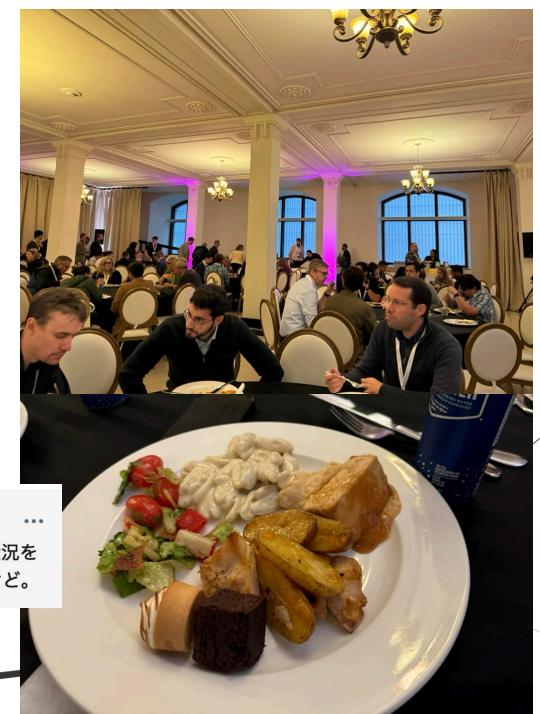
Lunch

- 2日間、ランチが提供される
- 隣の人に声を掛けると、Apple だったり、Conveyalのヘビー ユーザだったり、共通の話題に 事欠かない



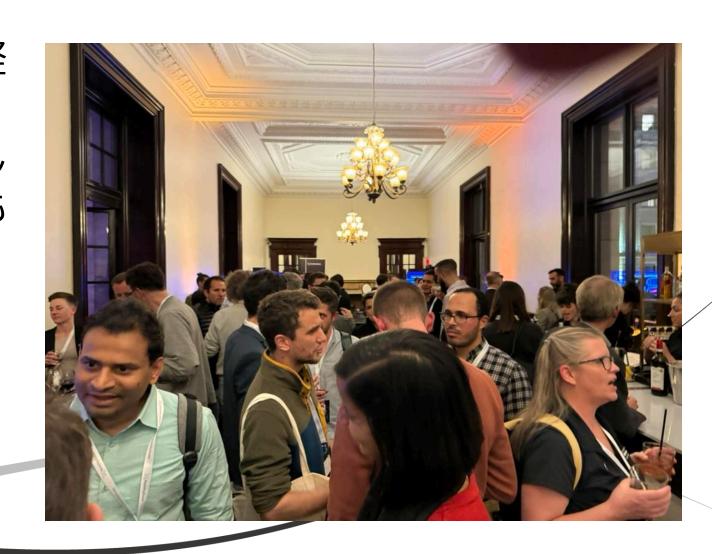
→ Masaki Ito @niyalist · 2024年10月31日

ランチ。たまたまAppleとTransitからの参加者と隣になり、日本のGTFSの状況を 説明する羽目に。日本は独自なんです、なんて話はほんとはしたくないんだけど。



Networking Event & Happy Hour (懇親会)

- 飲み物(チケット制) +軽食
- 当日のセッションで発表していたため、話し掛けてもらいやすかった
- 日本語が堪能なMBTAの方 と話した



日本人参加者を増やしたい

- 言葉の壁
 - パワポ:Google レンズで翻訳!
 - リスニング: PAから音声データを得られないか?
 - 発表:練習すれば何とかなる?
 - ワークショップ: ・・・(日本語テーブルを作る?)
- 標準化議論にもっと加わるべきではないか?
 - 協会、CPなど

参考にさせて頂きました

- ・ 参加者の規範
- 交流の時間
- 名札

